

Round 8



Outline

8番手から表彰台も狙える
手応えがありながらも、
レース序盤に発生した車両トラブルで
悔しい戦線離脱。

2024 AUTOBACS SUPER GT Round8 MOTEGI GT 300km RACEが、11月2日(土)～3日(日)に栃木県のモビリティリゾートもてぎで行われた。#37 Deloitte TOM'S GR Supra (笹原右京 / ジュリアーノ・アレジ) は、雨天となった公式予選で8番グリッドにつけ、決勝レースでは上位進出も期待できるペースで周回していたが、10周を過ぎたところで車両トラブルが発生し、悔しいリタイアとなった。



Information

circuit	モビリティリゾートもてぎ(栃木県茂木町)	
date	11/2 sat	11/3 sun
weather	雨	晴れ
spectators	42,300人 (sat 12,300人 + sun 30,000人)	

Result

37

TGR TEAM Deloitte TOM'S

Car



Deloitte TOM'S GR Supra

Driver


 笹原 右京
Ukyo Sasahara

 ジュリアーノ・アレジ
Giuliano Alesi

予選 8位

決勝 -位

Driver Rank

Team Rank

4位

51points

5位

65points

予選 Q1

アレジ : P9 / 1'51.135

予選 Q2

笹原 : P4 / 1'49.200

 決勝 ファステスト
ラップタイム

 笹原 : 1'40.526
アレジ : -

予選

●天候：雨 ●気温：17℃ ●路面温度：19℃



Qualifying detail

**ウエットコンディションで
笹原とアレジが力走を見せ、
総合8番手を獲得する。**

シーズン7戦目となった今大会では、獲得点数に応じて課せられるサクセスウェイトが1ポイントにつき1kg(通常時は2kg)に半減される。現在ランキング3番手につける37号車は51kgとなるため燃料リストラクター制限が入った状態でもてぎ大会に挑んだ。

2日(土)の公式練習は朝から雨模様となり、序盤からコースオフ車両も続出して合計6度も赤旗が出される波乱の展開となった。限られた時間のなかで満足のいくタイムを出すことができず、同セッションは15番手に終わるも、しっかりと手応えを感じて公式予選に臨んだ。

Q1はアレジが担当し、序盤から積極的にタイムを更新していく。ソフト側のタイヤを選んだこともあり、後半はタイムが伸びず1分51秒135で9番手に終わった。続いて笹原がマシンに乗り込んでQ2に出走。Q1の内容を考慮してタイヤを変更し、1分49秒200で4番手につけた。2人合わせた総合タイムで8番手となり、ポイントランキングを争うライバルより前の位置を獲得した。

After Qualifying



**雨の中で総合8番手は
ポジティブな結果**
ドライバー 笹原 右京

公式練習では赤旗中断が多かった影響で、僕としてははまともに走れていないなかで予選に臨みました。その状況を考えるとうまくまとめられたかと思えますし、36号車とはタイヤの戦略が違ったので、それがQ2の結果に影響したと思います。



**タイヤの状態が良い時に
渋滞に引っかった。**
ドライバー ジュリアーノ・アレジ

Q1は赤旗などのリスクを考慮してソフト側のタイヤを履いていきました。朝からウエットコンディションのフィーリングは良かったのですが、タイヤの性能が一番発揮されるところで渋滞に引っかったのが痛かったです。

TGR TEAM Deloitte TOM'S 37



**雨の予選でしたが
トップ10に入れて良かった。**
チーム監督 ミハエル・クルム

ここ数戦の予選では下位に沈んでいたもので、それと比べれば良い結果だったと思います。決勝レースはドライコンディションになることが予想されていて、どうなるか分からないですが、しっかり強いレースをして少しでもポイントを獲得したいです。



**雨の中でうまく対応できた
予選だったと思います。**
レースエンジニア 大立 健太

雨のコンディションでしたが、うまく進められたと思います。Q1とQ2でタイヤの種類を変えていって、Q1ではもう少しタイムを縮められた要素もありましたし、Q2ではもう1周あればトップタイムを出せるパフォーマンスはありました。

決勝

●天候：晴れ ●気温：21℃ ●路面温度：29℃



Race detail

序盤から好ペースで周回するも、 車両トラブルで悔しいリタイア。

前日の雨から一転し、3日（日）は雲ひとつない青空が広がったモビリティリゾートもてぎ。8番手からスタートする37号車は、決勝レース前のウォームアップ走行でパワーが出なくなる症状に悩まされた。状況を改善するためにグリッド上で部品交換の作業を進め、笹原がマシンに乗り込んでスタートを切った。

1周目に1台をパスして7番手に浮上すると、前を走るライバルを積極的に追いかける走りを披露。決勝レースで選択したタイヤとコンディションがうまく噛み合っており、良い手応えを感じながら上位進出を伺った。

しかし、11周目にウォームアップ時と同じような症状が発生。スローダウンした状態でピットに戻った。再度トラブル解消のために作業が行われ、約20分後に復帰。勝負権は失っていたがチェッカーフラッグを目指して周回を重ねた。6周を走ったところで再びトラブルに見舞われてピットイン。症状の解決が見込めないため、そのままリタイアとなった。

After Race



**トラブルは悔しいですが、
これもレースだと思います。**

ドライバー 笹原 右京

今回は手応えもありましたし、決勝に向けて選んできたタイヤは完璧と言えるくらいのマッチングでした。レース序盤からペース良く走れていただけに、トラブルで走れなくなったのは悔しいです。最終戦で勝つことを目指して頑張りたいです。



**最終戦では良い結果を
残したいと思います。**

ドライバー ジュリアーノ・アレジ

トラブルが出てしまって最後まで走れなかったことは残念です。チャンピオン争いもしていたので、この結果は非常に痛いですが、もう一戦残っているので気持ちを切り替えて、最終戦の鈴鹿で良い結果を残したいと思います。

TGR TEAM Deloitte TOM'S 37



**トップ3に入れるだけの
パフォーマンスはありました。**

チーム監督 ミハエル・クルム

TCDの皆さんも一生懸命対応してくれましたが、最後まで走ることはできませんでした。トラブルが出たことは残念だけど、レースをしていれば良い時もあれば今回のような時もあります。最終戦の鈴鹿では、もう1回優勝したいと思います！



**手応えがあったので
トラブルは残念です。**

レースエンジニア 大立 健太

ウォームアップの時にトラブルが出て、ほぼ走ることができませんでした。グリッド上で直してもらって、レース序盤は予想以上に良いペースでした。右京のリクエストで選んだタイヤがコンディションにマッチしていて、良い展開に持ち込めていました。

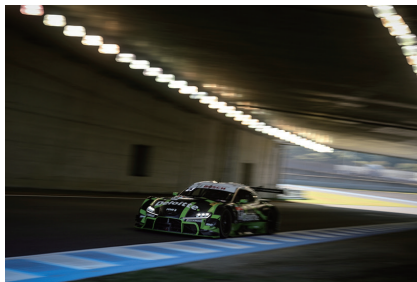
Summary



チームオーナー
館 信秀

37号車は残念な結果となりました。雨のなか予選でも悪くない位置につけていましたし、決勝レースに向けても良いフィーリングで走っていたので、今回は調子が良いなと思いながら期待していました。レースをしていればこういうこともあります。36号車とワンツーフィニッシュもできそうな感じだったので、とにかく残念でした。次の鈴鹿では、良い結果を残してシーズンを締め括りたいです。最終戦もたくさんの応援をよろしくお願いいたします。

Race Scene



Deloitte.

BINGO

